

コミュニティ・スクール
学校だより

あ い お

山口市立秋穂小学校 令和5年 6月 1日



【秋穂小 学校教育目標】 《子どもが輝く 美しい学校》

みんなが幸せな学校

校長 川 本 卓

4月の中旬頃だったでしょうか、久しぶりに防府天満宮に行くと、「幸せます」の花文字が参道の石段にあり、参拝者を喜ばせていました。様々な花で彩られた花文字は確かに見事でした。その見事さと同時に、「幸せます」という山口県ならではの言葉（方言）も、改めて、いい響きだなと思いました。この取組には、コロナ禍から日常に戻りつつある中、明るいメッセージを伝えようという思いが込められていると聞きました。

昨今「well-being(ウェルビーイング)」という言葉を目にすることがあります。一般には、「身体的・精神的・社会的に豊かな（良い）状態であり、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など、将来に渡る持続的な幸福も含む。」ということのようです。教育界では、次期教育振興基本計画の中で、この言葉がキーワードとして何度も登場します。

ある、書物の中では、子供を例にウェルビーイングの深化として、以下のような流れが理想だと

①今が楽しい（個人の幸せ）→ ②クラスや地域の人の幸せを願う（社会・共生）→ ③この市（町）・学校・世界をよくしたい（利他の心・公共・持続性）

書かれていました。

つまりは、自分が幸せならいいという考えから、周りの人の幸せ、さらには、地域社会や世界の幸せまで願うようになるという流れが理想的だということです。これを見て、先日の6年生の総合的な学習の時間（なたね）の秋穂88ヶ所巡りに関する学習を想起することができました。

この活動に向かっている6年生は、とてもいい顔をしていましたし、各札所で接した、来客もまた、喜ばれていたように感じました。

①お大師参りは楽しい（自分・個人）→ ②来た人にも喜んでもらいたい（利他の心）→ ③地域の伝統を大切にしたい・盛り上げたい（地域の活性化・持続性）

「幸せ」という言葉は、漠然としていて、捉え方も人それぞれかもしれせん。あの、有名な詩人・書家である、相田みつをさんの言葉に「幸せは自分の心が決める」というものがあります。子供、大人みんなが学校や地域とつながる中で、「幸せ」を感じる機会が増えるような仕組みを作っていきたいと思います。そして、自分たちの学校、中学校区、地域での「ウェルビーイング」とは何かを追求していきたいと考えています。

秋穂小ホームページでホットな情報をお伝えします！

・秋穂小学校のホームページでは、行事予定等に加えて、「今日の給食」で毎日の給食の様子、「校長室だより」で子どもたちの学校の様子を紹介しています。パソコンやスマートフォンで簡単に見ることができますので、是非覗いてみてください。下のQRコードからもページに行けます。

よろしく願
いします。



5/27 運動会・・・みんな最後まで頑張りました。

